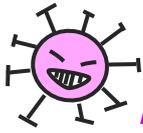


感染症に気をつけよう!!

2023年1月号



横浜市衛生研究所
感染症情報センター 1月26日発行

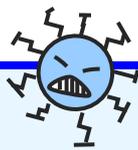


横浜市内の感染症流行状況

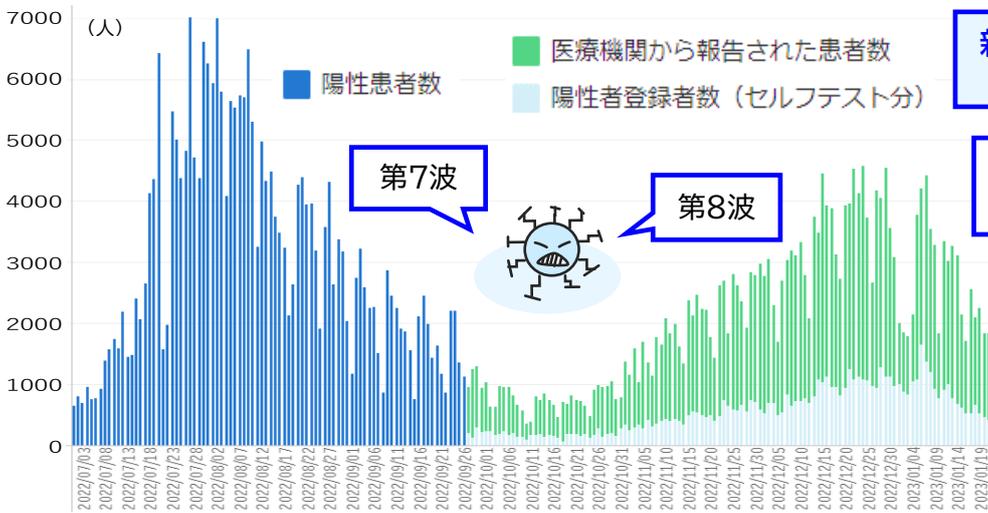
感染症*	流行状況		説明【解説付き既刊号等】 ← クリック
新型コロナウイルス感染症*	大流行	?	今後の感染状況について、全国的には減少傾向が続くことが見込まれています。*【'22.12号】
インフルエンザ**	流行	増加	患者の年齢構成は1月16日からの7日間で、10歳未満が全体の61.7%を占めていました。
梅毒**	発生	横ばい	梅毒などの性感染症は、報告数が比較的多い状況が続いています。【 ちらし 】 【無料・匿名検査】

* 国立感染症研究所 ** 厚生労働省

今、気をつけたい感染症



新型コロナウイルス感染症



新型コロナ 陽性患者数の推移
公表日別 2023年1月22日時点

このまま減っていくかなあ...
まだ 感染対策は続けないと



インフルエンザはこれからもっと増えそうだなあ...



季節性インフルエンザ
2023年1月15日までの
定点あたり患者報告数(注)

(注) 定期的に報告される患者発生状況のこと。横浜市内の医療機関153か所から、7日間ごとに報告される患者数の平均値。